



インスピレーションになる

2018-2019
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2540

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

4

APRIL

vol. 10

ガバナー月信
2019.04.01



角館町松木内川堤の桜

CONTENTS

- 表紙 1
- 富樫龍紀ガバナー メッセージ 2
- 国際ロータリー会長 メッセージ 3
- 地区チーム研修セミナー、秋田東RC 60周年記念式典 4
- 南区インターシティ・ミーティング 開催報告 5
- 第2回会員拡大増強委員会 開催報告 6
- 米山記念奨学生歓送会、
ロータリーの友地区代表委員会合同会議、MPHF紹介 7
- 4月のRIレポート、ロータリーの友コーナー、
2月の会員数・出席率 8

Rotary



国際ロータリー第2540地区
ガバナー 富樫龍紀

〒014-0015 秋田県大仙市大曲白金町8-17 大曲エンパイアホテル内
TEL: 0187-66-3105 FAX: 0187-66-3106 E-mail: rid2540g18-19@athena.ocn.ne.jp

変わりゆく時代に、 ホップ・ステップ・ロータリー!

2018-2019年度ガバナー
Togashi Ryuki
富樫 龍紀



ゆく川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。

有名な鴨長明の方丈記の冒頭文ですが、全てのものは移り変わり、いつまでも同じものはない、という仏教的無常観を表していると言われます。4月1日に新元号「令和」が発表されました。まさに時代の転換点に生きている感があります。

ロータリー年度は、7月から新年度となりますが、世の中は4月から新年度となる場合が多いですね。新学期や新年度では、ピカピカの新入生や新入社員が新しい制服やスーツに身を包み張り切る姿が、実に眩しく感じられます。

さて、ロータリー年度は7月からと言いましたが、もう新年度のために様々なカリキュラムが進められています。その一つが会長エレクト研修セミナーです。これはピカピカの新会長のために、ガバナーエレクトが次年度の方針や目標を共有し、どのように進めて行くかを勉強する機会となります。

実は私のエレクト時代は、ガバナー補佐との兼務であり、すべて研修リーダーのPast Governorの皆さんにお任せでありました。従って研修に対しては正直やって頂いたという満足だけで、特にその効果や成果までは考えも及びませんでした。しかし現実には、ロータリークラブセントラルへの登録実績や会員増強、米山、財団への取り組み状況が心配になってきたのです。

経営ではPDCAと良く言われます。Plan(計画). Do(実行). Check(評価). Action(改善)をしっかりと回すことが求められます。ロータリーも、PDCAが必要かと、悩んでいましたら、ガバナー事務所内で「ガバナーそんなに悩まなくていいです。」と言われてしまいました。

しかし、残り3か月でCとAをやらなければ悔いが残り、嶋田ガバナーエレクトに言い訳ばかりの引き継ぎになりそうですから、ガバナー補佐とクラブの各会長さんに次の事項をお願い致します。

第1に、各クラブの活動計画書をもう一度確認し、やり残したことはないか見直しをして下さい。

第2に、出来なかったことを次年度へ引き継ぎをするのか、残り期間で実行するか決定して下さい。

第3に、会員の皆さんに問うて下さい。例会や行事は楽しんで参加できているか。私は第3が一番大切だと思っています。それは今ガバナーとして一番楽しく、一番やりがいを感じているからです。

今やらなくて、いつやるのですか?

今楽しまなくて、いつ楽しめますか?

あなたが楽しまないで誰が楽しめますか?

あと3か月、私にとって皆さんにとって大事な3か月です。それは会員みんながロータリアンになって良かった、と思えるロータリーを期待しているからです。

新時代にホップ・ステップ・ロータリー!

2分に1人、世界のどこかで、妊娠や出産によって女性が命を落としています。しかし、これは予防できることです。そして、誕生後6週間以内に母親を失う新生児は、母親がいる新生児よりも死亡率がはるかに高いといわれています。国際ロータリー(RI)会長として世界中を旅する中で、こういった事実がただの悲惨な統計上の数字ではなく、現実に直面している人々とも出会いました。また、母子を救うために全力を注いでいる人々とも出会ったおかげで希望を持つことができました。そして、このように全力を注ぐ人の多くがロータリアンであることを、私は誇りに思います。4月はロータリーの母子の健康月間ですから、皆さまも誇りに思ってくださいようなこととお話ししましょう。

昨年秋、ラトビアのイェカプピルスにある病院を訪れました。近代的な病院で、医師や看護師は患者に寄り添い、熱心な仕事ぶりで熟練していました。しかし必死に努力しているにもかかわらず、母子の死亡率は依然として高いままでした。診断に欠かすことのできない設備や、保育器のような基本的な機器すらないという、彼らにとってはどうすることもできない原因のためです。

そこで、ロータリーの出番です。世界中から21のクラブがグローバル補助金プロジェクトに参加し、この病院が必要としていた設備を提供したのです。私が9月にこの病院の産科病棟を訪れると、最新の設備がそろっていて、患者は必要なケアを——世界中のあらゆる母と子が受けるべきケアを——受けていました。

ブラジルでは、地元のロータリアンが日本のロータリアンと共に、リソース不足になっている新生児集中治療室の収容力を大幅に向上させるグローバ

ル補助金プロジェクトを実施しました。

新しい保育器やモニター、その他の設備

によって、地元の病院で救われる新生児の数は毎年増えています。

モンゴルでは、ニュージーランドの職業研修チーム(VTT)が医師と助産師を対象とした緊急時対応技術の研修を企画し、助産師に近代的なベストプラクティスを教えるプログラムを立ち上げ、調査の上、モンゴルの文化に合った出産前教育のマニュアルを作成しました。チームが初めてモンゴルを訪れた2013年から2017年の間に、モンゴルの新生児死亡率は1,000人当たり11.2%から9.1%に減少し、妊産婦死亡率も減少しました。

私が思う変革的な奉仕というのはまさにこういうことで、ロータリアンが何より得意とすることでもあります。ロータリーが他に類を見ない奉仕活動を行うことができるのは、世界中に広がるロータリーのネットワーク、地域社会ではロータリーが人々の最も必要としていることを把握していて、会員たちが数えきれないスキルや職業にまたがる専門知識を持つおかげなのです。また、私たちが最も必要としている人々に援助の手を差し伸べることで、私たちは彼らのインスピレーションになることができます。



2018-2019年度国際ロータリー会長

バリー・ラシン

3月9日(土) 地区チーム研修セミナー 開催報告

次期地区幹事 渡邊 光

3月9日(土)13時より、秋田キャッスルホテルに於いて、地区チーム研修セミナーが開催されました。このセミナーは、次期ガバナー補佐および次期地区役員と委員長が就任に備えるために理解を深めること、また、ガバナーエレクトに、地区指導者チームを築き、クラブを支援するようチームの意欲を高める機会を提供することが目的とされています。

セミナーでは富樫ガバナーと嶋田ガバナーエレクトがご挨拶された後、次期ガバナー補佐と次期地区委員会委員長に委嘱状が伝達されました。次に嶋田ガバナーエレクトより国際協議会報告が行われ、『2019-2020年度RI会長テーマ「ROTARY CONNETS THE WORLD」ロータリーは世界をつなぐ』が発表されました。

続いて富樫ガバナーと今年度のガバナー補佐による現況報告があり、休憩をはさんで、嶋田ガバナーエレクトより次年度地区方針・委員会方針が発表されました。～皆で脱皮し、新しい事に挑戦しよう～をスローガンに、具体的なものとして、会員増強、「魅力ある・元気ある・



個性ある」クラブづくり、地区財団活動資金(DDF)を活用して地域社会・海外でのプロジェクトを行うこと、地域を愛し、社会に奉仕するための職業奉仕、クラブとしてロータリー賞の獲得が挙げられました。

その後、柳谷地区研修委員長より『ガバナー補佐・委員長の役割』についての研修、伊藤パストガバナーによる規定審議会委員会の説明が行われ、最後に富樫ガバナーから講評をいただき、無事に会議が終了しました。

今後とも皆様のご協力のもと、地区運営に精一杯努力してまいります。何卒、よろしくご協力申し上げます。



秋田東RC 創立60周年記念式典 開催報告

秋田東RC 会長 斎藤 秀光

2019年3月17日、秋田ビューホテルにて当クラブの創立60周年記念式典を執り行い、RI第2540地区の富樫ガバナー、佐竹秋田県知事、穂積秋田市長を始め多くの御来賓の皆様と地区内外から200名を超えるロータリアンの方々に御臨席を賜り盛大に開催させていただきました。

式典の中では富樫ガバナーからの御祝辞で当クラブの事業に対する評価と激励の言葉をいただきました。また、引き続き行いました祝賀会では秋田川反芸妓連の皆さんの祝舞で花を添えていただき多くの方々と楽しく親睦を深めることが出来ました。

60年という節目の年をむかえ改めてお世話になった方々へ感謝の意を表すると共に次の節目の年に向け地域社会の更なる発展を目指し活動を続けて参りたいと思います。

関係各位の皆様には当クラブに対しより一層の御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。創立60周年記念式典開催の報告とさせていただきます。



南区インターシティ・ミーティング 開催報告

2018-2019年度 南区ガバナー補佐 加賀 清太郎

3月16日(土)、浅春とはいえ穏やかな陽気のもと、横浜市 松興会館で南区IMを開催しました。

南区13のクラブから約100名の会員が参加し、ホストクラブの横手南RC 篠木会長の歓迎の挨拶から始まり、来賓の富樫ガバナー 嶋田ガバナーエレクトより挨拶を頂きました。その後、職業奉仕・会員拡大に関して発表及び講演が行われました。

【富樫ガバナー挨拶】

今年度の折り返し時期を過ぎたが、年初に掲げた目標達成に向けて一丸となって努力しなければならない。本会のプログラムはIMの目的に沿ったものであり、大いに学び、好意と友情を深め、私にできる奉仕を見つけられるよう今後の一助としていただきたい。

【嶋田ガバナーエレクト挨拶】

各クラブの発表、講演があり真剣に拝聴したい。沢山の方々とお話できる機会なので楽しみにしている。知識と懇親を深めましょう。

【発表 横手東RC 菊地利徳】

「水」について組成から料理との関連性、免疫などのお話があり、人類は地球上の3%の水に頼っており、ロータリーの活動として水の不足や汚染とのかかわりも必要になってくる。

【発表 横手南RC 太田一弘】

ドローンによる最新の測量技術について、実機や機器の紹介も交え説明がなされた。特に近い将来の技術としてレーザースキャナによる3次元設計データの有用性を実際のデータを動かしながら紹介された。

【発表 西馬音内RC 後藤裕樹】

3年前から若手会員が増えた。仕事上のお付き合いや同世代と一緒に誘われるのが入会の強い理由づけとなる。既会員は新会員がどういう心境で入会したかを把握しておくべき。地元の歴史や奉仕についても知る意義のある会なので、入会候補者にはその点も伝えたい。

【講演 桑原地区会員拡大増強委員長】

会員増強は会長の意思の強さと継続的な声掛けをすること。及びクラブ会員増強委員会が具体的な活動をやり続ける。これが重要である。

具体策については、地区のホームページ右側にある【会員拡大増強委員会】をクリックしていただければ各種資料がダウンロードできる。（「会員増強のための評価ツール」、「会員増強ガイド」など）

有効な具体策としては、職業分類の空きを埋めること。また、SNSで活動の様子を積極的に発信することにより、広く認知されるので取り組んで欲しい。

会員増強に秘策は無い。クラブ活性化を行っていないとクラブの衰退につながる。地道に継続することが大切である。

この後、ガバナーによる講評で研修会は終了しました。懇親会は、塩谷パストガバナーのご挨拶と田口次期ガバナー補佐の乾杯のご発声で開宴し、横手南RC佐々木会長エレクトの中締めで無事お開きとなりました。

ご参加いただいた皆様には心より御礼を申し上げます。以上、ご報告といたします。



富樫ガバナー挨拶



嶋田ガバナーエレクト挨拶



ホストクラブ 篠木会長挨拶
(横手南RC)



発表者
菊地利徳 (横手東RC)



発表者
太田一弘 (横手南RC)



発表者
後藤裕樹 (西馬音内RC)



講師 桑原 透
地区会員拡大増強委員長



懇親会挨拶
塩谷パストガバナー



田口次期ガバナー補佐

3月2日(土) 第2回会員拡大増強委員会 開催報告 会員拡大増強委員長 桑原 透(秋田RC)

2019年3月2日(土)13:30より大曲エンパイヤホテルにて第2回会員拡大増強委員会会議を行ないました。

参加者は、富樫ガバナー、ガバナー補佐、地区会員拡大増強委員、地区幹事、事務局に加え、次年度委員長の計11名。委員長挨拶に続いて、富樫ガバナー挨拶、その後、協議に入りました。

各分区内・各クラブの会員増強活動現況をガバナー補佐の皆様からご報告いただいた後に、委員や地区役員の皆様からもご報告いただき、全員で意見交換を行ないました。

①各分区・各クラブの会員増強活動の状況報告

2019年1月現在の地区会員数1,143名で、昨年7月1日現在より17名増加。先月と比較し1名増加ながらも状況は鈍化している。

各クラブとも増強活動を行なっているものの容易ではない。年間目標数を達成しているクラブもあるが、増強に難渋しているクラブが少なくない。主な退会理由は、会員の高齢化や体調不良、家庭や会社の諸事情、転勤、例会への不参加続きの末、などが大半を占める。

増強については、候補者を例会へ招待したり、卓話依頼したり、過去に退会した人へ復会や子息の入会を打診したり、女性を重点候補としたり、仕事上の知人や青年会議所等の他団体との交流から卓話依頼する等で勧誘したりと、様々な手法で成功している。

会員維持については、例会時の席次抽選や夜例会での懇親、欠席が多い会員への参加要請やクラブ内での役割依頼、地区セミナーや同好会への参加要請、新入会員歓迎会の都度開催、例会開催数・時刻や会費見直しなど、楽しく和やかなクラブ行事への参加を促している。

②今年度末までの具体策について

3月から6月までの残り4ヶ月弱、クラブ会長は毎例会時に増強を話題に取り上げ、クラブ会員増強委員長は具体策を提示し、全会員で入会候補者の情報収集と勧誘活動を強力に行なってほしい。

増強の具体策として、以下に列記した実践例を活用しながら、会員が候補者情報を数多く提示することが重要であるが、その中でも全クラブに必ず行なってほしい一番の具体策は、「職業分類の空欄を埋める(業種毎の候補者を選出すること)」である。全ての地域において、空欄を埋められる該当者が必ずいる。それを会員一人丸となって情報収集して該当者を見つけ出し、会員の中で該当者の知人・友人がいる場合にはそのルートを使って勧誘する。これを早急に行ないながら増強へと繋げることが会員増強の早道であると確信している。

職業分類表は日本事務局には残念ながら無いのだが、他地区を参考にしながら直ちに取り組みることが出来る。インターネットで簡単にダウンロード可能なので、クラブ会員増強委員長は早急に入手してクラブ内での行動へと結びつけてもらいたい。

また、各クラブがホームページやSNSを通じて実際の活動の様子を積極的に発信することによって、クラブ会員はもとより、他クラブ会員や広く世間へ認知と増強環境改善を果たせると考えるので、是非取り組んでほしい。

その他、具体策としては(第1回委員会報告書と重複するが)

【会員増強実践例】

- ・複数の会員で候補者と酒を呑み交わして親睦する
- ・入会見込者紹介用紙を会員に配布して情報収集する
- ・医師、弁護士、税理士、会計士などの専門職の候補者を例会へ招待し、人脈を広げるメリットを伝える
- ・公務員退職者には還暦祝いの会などの機会を利用する
- ・ライオンズクラブとの違いや歴史・成り立ちを説明する

【会員維持実践例】

- ・週報をメール配信し、例会欠席会員へ内容を伝え、夜例会へ誘い親睦する
- ・先輩が後輩へ寛ぎながら話す機会(炉辺会議)を積極開催する

例年6月に退会者が多数出ることを十分に鑑みて、会員増強と維持実現の為にクラブのあり方、やり方を直ちに協議し、改革・改善を果たしながら次年度へと繋いで下さいますようお願いいたします。

以上、今年度の会員拡大増強委員会は都合3回の開催にて会議を終えますが、引き続き年度末までホームページやガバナー月信を通じて地区会員の皆様へ情報提供してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



2018学年度ロータリー米山記念奨学生歓送会開催報告

ロータリー米山記念奨学委員長 阿部 大助 (秋田中央RC)

3月2日(土)18:00よりパーティーギャラリーイヤタカにおいて、2018学年度ロータリー米山記念奨学生の終了式並びに歓送会が開催されました。4名の卒業生のうち1名は所用で欠席しましたが出席した3名の奨学期間終了を祝い、またこれからの活躍を期待する歓送会となりました。

富樫龍紀ガバナーのご挨拶に続き、奨学生へ終了証の授与及びカウンセラーに対して感謝状の贈呈がされました。

引き続き、土田博美ロータリー学友委員長と第2540地区学友会会長のカビール・ムハムドゥルさんより学友会の案内をしていただきました。カビール会長からは卒業する4名へ記念品をいただきました。

歓送会では、米山記念奨学会理事の村上勤一パストガバナーの挨拶と乾杯に続き、奨学生、カウンセラー、

世話クラブ会長、大学関係者の方よりこれまでの思い出や今後の抱負、期待などをスピーチしていただきました。

思い出話などで大いに盛り上がり、最後は「手に手つないで」の合唱、嶋田康子ガバナーエレクトの中締めで閉会となりました。



ロータリーの友地区代表委員合同会議

ロータリーの友委員長 加賀 美奈

3月18日13時より東京、メルパルク東京にて、「ロータリーの友地区代表委員合同会議」が開かれました。当地区からは、友事務所・顧問として柳谷悦磨パストガバナーと地区代表委員の私が参加しました。

3部構成で1部はロータリーの友事務所から編集部現状報告を受けました。2部は3つのゾーンに分かれ、

地区委員長が各地区の特色あるクラブ活動や、友編集部に対する要望等を発表しました。3部は合同会議場に戻り、各ゾーンごとの報告をし閉会しました。

第2部の地区発表では、皆様のアンケートの回答を基に発表させていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

MPHF紹介

秋田ロータリークラブ

児玉 健一 Kodama Kenichi

表彰分類 MPHF3回目
入会年月日 1987年1月
2010年～2011年度 秋田RC会長



ロータリーレート 2019年4月のレート **110円**

ロータリーの友 4月号

特集 命の重みを感じていますか ... P7

自殺を防ぎ命を未来へつなげる活動

特集 母子の健康月間 P16

安全なお産のために

RI会長より

私たちを最も必要としている P3

人々に援助の手を

環境への取り組みを語る P19

〈ロータリーアットワーク〉

大館国際情報学院IAC **P24**

「マリに支援米を送る」

ロータリーの友委員会

アンケートにご協力いただき
ありがとうございました



**マイロータリー登録
方法はコチラから**



新年度に向けてクラブ情報を
「クラブセントラル」に
入力しましょう!

\\ 会員増強目標 //

1,200名

会員数 **1,144名** 目標まで残り **60名**

**候補者を見直し、
クラブの目標人数を達成しましょう!**

2018-19年度 2月の会員数・出席率

2019年2月末日会員数 1,144名

	クラブ名	7月1日 会員数	2月 末 会員数	女 性 会員数	40歳未満 会員数	増減	増 員 目標数	例会出席率
大館・鹿角	大 館	36	37	1	1	1	4	52.78%
	花 輪	21	22	0	0	1	3	77.46%
	鷹 巣	15	15	1	0	0	2	69.97%
	大 館 北	17	18	3	0	1	2	61.11%
	十和田秋田	28	30	0	0	2	3	61.67%
	大 館 南	34	35	1	0	1	2	70.00%
	大 館 中央	16	17	1	0	1	1	94.11%
能代・男鹿	能 代	57	58	5	5	1	3	60.36%
	能 代 南	11	11	2	0	0	2	72.50%
	男 鹿	12	11	3	2	-1	2	88.00%
	二 ツ 井	8	8	0	0	0	1	87.50%
	五 城 目	13	13	0	0	0	2	67.00%
	潟 上	31	34	0	0	3	2	71.74%
	男 鹿 北	15	15	0	2	0	2	76.66%
	山 本	18	17	0	0	-1	2	86.77%
	能代白神	16	16	7	0	0	2	81.25%
秋 田	秋 田	88	88	4	0	0	3	78.00%
	秋 田 東	76	80	5	3	4	3	100.00%
	秋 田 港	37	38	3	0	1	2	85.09%
	秋 田 北	50	50	2	1	0	2	98.98%
	秋 田 南	25	26	2	1	1	2	89.33%
	秋 田 中央	37	40	3	0	3	2	79.17%
	秋 田 西	17	17	2	0	0	2	62.75%
本 庄・由利	本 庄	29	29	0	0	0	2	71.00%
	矢 島	9	9	0	0	0	2	69.44%
	仁 賀 保	9	7	0	0	-2	2	100.00%
	象 潟	7	7	0	0	0	2	76.19%
	本 庄 東	22	22	0	1	0	2	66.60%
大 仙・仙北	本 庄 南	8	8	0	0	0	2	100.00%
	大 曲	53	53	4	4	0	5	85.20%
	角 館	12	14	2	2	2	2	92.60%
	大 曲 南	13	13	2	0	0	2	100.00%
	大 曲 中央	11	12	4	1	1	2	75.00%
	田 沢 湖	16	17	1	1	1	2	82.35%
横 手・湯沢	大 曲 仙北	12	12	4	0	0	1	85.00%
	湯 沢	64	63	0	1	-1	2	65.79%
	横 手	63	63	4	1	0	2	70.30%
	横 手 南	64	65	2	0	1	2	97.63%
	西 馬 音内	17	16	0	6	-1	2	60.90%
	湯 沢 南	19	17	1	4	-2	1	69.12%
	稲 川	7	8	2	0	1	2	90.00%
横 手 東	13	13	1	0	0	2	84.62%	
合計	42RC	1,126	1,144	72	36	18	90	78.90%